PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference NA011	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	
International application No. PCT/JP2004/008200	International filing date (day/month/year) 11 June 2004 (11.06.2004)	Priority date (day/month/year) 12 June 2003 (12.06.2003)]	
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC 7 F21V 8/00, H01L 33/00, G02F 1/1335			
Applicant OMRON CORPORATION			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis. 1(a).				
2.	This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.				
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.				
3.	3. This report contains indications relating to the following items:				
	Box No. I Basis of the report				
	Box No. II Priority				
	Box No. III	o. III Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability			
	Box No. IV	Lack of unity of invention			
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement			
	Box No. VI	Certain documents cited			
	Box No. VII	Certain defects in the international application			
	Box No. VIII Certain observations on the international application				
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).				
			Date of issuance of this report 13 December 2005 (13.12.2005)		
	The International Bur 34, chemin des Co 1211 Geneva 20, S	lombettes	Authorized officer Yoshiko Kuwahara		
Facsi	mile No. +41 22 740 14 35		Telephone No. +41 22 338 90 90		

Form PCT/IB/373 (January 2004)

	特許協力的	条約		
発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)	·		REC'D 0 2 SEP 2004	7
出頭人代理人	ļ.		WIPO]
中野 雅房		•	PCT]
	様		,	
あて名	1		PCT	
〒 540−0012			国際調査機関の見解書	
日本国大阪府大阪市中央区谷町1丁目3番5	5号		(法施行規則第40条の2) {PCT規則43の2.1]	
オグラ天満橋ビル		:		1
		発送日 (ここ)	31. 8. 2004	
		(日.月.年)	31. 8. 2004	-
出願人又は代理人		今後の手続きにつ	ついては、下記2を参照すること。	ŀ
の杏類記号 NAO11		·		-
国際出題番号 国際出題	—————————————————————————————————————		優先日	
PCT/JP2004/008200 (日.月.		6.2004	(日.月.年) 12.06.2003	_
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ F21	/8/00. H	01L33/00,	G02F1/13357	1
国際特許分類(1下し) 1111. して 1211	, 0, 0 =, ==		· ·	_
			•	1
出願人(氏名又は名称) オムロン株式会社			·	
				_
1. この見解書は次の内容を含む。				
第Ⅱ欄 優先権			•	
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産	業上の利用可能	性性についての見角	2の不作成	
第Ⅳ柳 発明の単一性の欠如	•		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- [
※ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)それを裏付けるための)(i)に規定する) x ab B 7 x 80 81	新規性、進歩性又	は産業上の利用可能性についての見解、	-
	文版及0.0091	•		1
第VI欄 ある種の引用文献 第VII欄 国際出願の不備				
第四個 国際出願に対する意見	L	•		١
Na imilia Element	-			1
2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願		ロッセナペタロ しょう 田 ナンス	、国際予備密杏機関を選択し、かつ、その間	围
				≛
際予備審査機関がPCT規則66.102(0)のない旨を国際事務局に通知していた場合を	除いて、この見	見解告は国際予備署	香機関の最初の見解むとみなされる。	
The second secon	100の日A77年して	カカナカス担合 お	6式PCT/ISA/220を送付した日泊	D>
この見解書が上記のように国際す帰籍金機 63月又は優先日から22月のうちいずれ	めいた神谷とこれが遅く満了する	5期限が経過するま	でに、出願人は国際予備審査機関に、適	当
な場合は補正書とどもに、答弁書を提出す	ることができる	5.	•	
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。				
			•	ŀ
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/2	20の備考を	参照すること。 —————		
				\neg
見解告を作成した日				
28.07.2004	•			ᆜ
名称及びあて先	•		権限のある職員) 3 X 3 3 3	1
日本国特許庁 (ISA/JP)		小宮 寛	<u> </u>	
郵便番号100-8915 東京都千代田区殿が関三丁目4番35	3-	電話番号 03	-3581-1101 内線 3371	
果尿和十八田区取が関ニリロ4番3	•	1		

様式PCT/1SA/237 (表紙) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COPY

国際調査機関の見解む

国際出願番号 PCT/JP2004/008200

•			
1. この見解書は、下	2に示す場合を除くほか、国際出願の官語を基礎として作成された。		
この見解替は、それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。		
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	たされかつ舒求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 手を作成した。		
a. タイプ	配列表		
	配列表に関連するテーブル		
b. フォーマット	一		
	コンピュータ読み取り可能な形式		
c . 提出時期	出願時の国際出願に含まれる		
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された		
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された		
3.			
4. 補足意見:	•		
٠,			
1.			
· .			
· .			

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/008200

第	V 欄 新規性、進歩性又は産業上の それを裏付る文献及び説明)利用可能性についての P C T 規則43の2.1(a)(i)に定め	る見解、
1.	見解	•	
	新規性(N)	請求の範囲 <u>1-7</u> 請求の範囲	
	進歩性(IS)	請求の範囲 1-7	
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 <u>1 - 7</u> 請求の範囲	有 無

2. 文献及び説明

文献1: JP 7-294745 A (ファナック株式会社)

1995.11.10,第3頁第4欄第14-21行,第6頁第9欄第4-16

行,第4図,第7図

文献2: JP 2003-35825 A (日本ライツ株式会社)

2003.02.07, 第3頁第3欄第17-19行, 第3頁第4欄第11-17行, 第5頁第8欄第22-32行, 第7頁第12欄第33-39行, 第1図, 第4図, 第9図, 第11図

文献3: JP 2-17 A (三菱レイヨン株式会社)

1990.01.05,全文,全図

請求の範囲1,7に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1と国際調査報告で引用された文献2により、進歩性を有しない。文献1の第4図には、偏向パターンにより光を射出する導光板が記載されている。そして、文献2の第11図には、偏向パターンの真下に設けられたプリズムシートにより光を射出する両面発光の導光板が記載されている。導光板の両面を発光させるという課題は周知の課題であるので、文献1に文献2のプリズムシートを適用することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲2に係る発明は、文献1と文献2により、進歩性を有しない。文献2の第9図には、円弧状のパターンで形成されたプリズムシートが記載されている。

請求の範囲3に係る発明は、文献1、2と国際調査報告で引用された文献3により、進歩性を有しない。プリズムの角度を変えることは、例えば、文献3に記載されているように周知技術である。

請求の範囲4,5に係る発明は、文献1と文献2により、進歩性を有しない。文献1の第4図には、傾斜角の異なった偏向パターンが記載されており、第7図には、斜面の一部を曲面とした偏向パターンが記載されている。

BEST AVAILABLE COPY

国際調査機関の見解費

国際出願番号 PCT/JP2004/008200

垴		

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

請求の範囲6に係る発明は、文献1と文献2により、進歩性を有しない。文献2には、点光源を用いた導光板が記載されている。

様式PCT/ISA/237 (補充欄) (2004年1月)